

第19回のじぎくオープンゴルフ選手権大会
1次予選競技会

開催日：令和7年2月4日（木） 予備日：2月7日（金）
開催コース：北六甲カントリー倶楽部 西コース

兵庫県ゴルフ連盟
北六甲CC競技委員会

ローカルルール

1. アウトオブバウンズは、白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
2. 修理地は、白線をもってその縁を定める。
3. レッドペナルティエリアは赤杭または赤線によってその縁を定める。
線と杭が併用されている場合はその線がその縁を定める。
4. No1～No18全てのホールで第1打がアウトオブバウンズの場合は、特設ティより第4打としてプレーしなければならない。
5. No2, 3, 6, 8ホールにおいて球がレッドペナルティエリアに入り、救済を受ける場合は1打付加して、ドロップエリアから進行することができる。
6. ジェネラルエリアにある道路(カート道を含む)排水溝は、動かさない障害物とする。
7. 電磁誘導カートの2本の人工の表面を持つ軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。
8. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
9. プレーヤーの球が送電線に当たったことが分かっているか、事実上確実な場合、そのストロークはカウントしない。プレーヤーは罰なしに、直前のストロークを行った場所から球をプレーしなければならない。このローカルルールに違反して誤所から球をプレーしたことに対する罰：規則 14. 7a に基づく一般の罰。
10. 特定の用具の使用制限
 - a. 『適合ドライバーヘッドリスト。ローカルルールひな型 G-1』を適用する。
 - b. 『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールひな型 G-2』を適用する。
 - c. 『適合球リスト・ローカルルールひな型 G-3』を適用する。
11. 規則 5. 5b は次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
 - ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーンをテストする。
12. 危険な状況のためのプレーの中断は、サイレンを継続して鳴らし伝えられる。その他すべての中断は、サイレンを継続して鳴らし伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開はサイレンを止めて伝えられる。
(規則 5. 7b 参照)

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則
日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。
2. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 競技終了時点
本予選競技は、競技委員長が成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
4. 移動
正規のラウンド中、乗用カートの乗車を認める。
5. タイの決定
順位がタイの場合は『マッチング・スコアカード方式』により順位を決定する。
6. 通過者
2次予選会への通過者決定は、Hdcp Index Aクラス(～9.9) Bクラス(10.0～18.0)にクラス分けを行い、Aクラス・Bクラスあわせて40名の方が進出できる。総参加者数により、通過者数に端数が出る場合は、A・Bクラス分けをした時点のクラス別総参加人数が多いクラスへ比例配分時に1名多く付与します。
7. 本競技のスコアをプレイヤーもしくはプレイヤーの所属するゴルフ倶楽部がJ-sysに登録する際は、スコアタイプのラウンド種別を「競技」に指定して登録すること。

注 意 事 項

1. 男性ティーマーク： 緑マーク 女性ティーマーク： 赤マーク
2. 正規のラウンド中に2点間の直線距離以外の高低差などが計測できる距離測定器を使用した場合は、プレイヤーは規則4.3a(1)の違反となる。
3. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スタート前に掲示して告知する。
4. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
5. 練習は、打球練習場での備え付けの球を使用すること。(スタート前の練習球は1籠までとする)
9ホール終了後、練習グリーンでのパッティング練習は可とする。(本競技はスループレーではない)
6. スタート時間10分前には、必ずティイングエリア周辺に待機すること。
7. スタートホールにて最新のHdcp Index 証明証(ハガキ・プリントアウト・アプリ画面)をご提示して下さい。
8. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないように注意すること。プレーの不当な遅延は、ゴルフ規則5.6aにより罰せられる。
9. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分、留意すること。これを怠ると、規則10.2aにより罰せられることがある。なお、部外者のコース内立入りは禁止する。
10. 委員会は競技中を含め、いつでも出場者に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
11. GlidNoを複数お持ちの選手は、開催日までに1つに決定してください。
なお、開催後に故意に複数取得されている選手と発覚した時点で、参加した競技が終了していたとしても、その選手の成績は過去に遡りその時点から無効とします。
各選手は、競技参加日までに再度WEB会員情報内、選手登録を開き現在のGlid No及び所属先と最新のHdcpを確認のうえ訂正がありましたら開催日までに変更し、ご参加ください。